2021 年 7 月 7 日

湘南工科大学新型コロナウイルス感染症対策本部

ワクチン 2 回目接種に向けて

今週月曜日から 2 回目接種の予定確認を実施している中で、現在行っている職域接種がどのように運営されているかの理解が不十分なため、色々な誤解をしている学生の皆さんが少なくないことに改めて気づきました。2 回目の接種をスムーズにおこなうためにも、この問題をクリアしておくことが必要です。

2 回目の接種を受けようとする学生の皆さんは、この説明に最後までしっかり目を通し、状況を十分理解した上で、接種の実施運営に協力してください。よろしくお願いします。

1. 前提：ワクチンの取り扱いについて
   (ア) ワクチンは冷凍保存されていて、解凍後の室温保存可能期間は 12 時間です。
   (イ) バイアル 1 本に 10 人分のワクチンが入っています。
   (ウ) 一度針を刺したバイアルは 6 時間以内に使用しなければいけません。
   (エ) ワクチンを接種できずに廃棄することは、極力避けなければいけません。最後の方に接種する人の分が足りなくなる可能性もあります。
2. 本学における接種運営のシステム
   (ア) 1 日を午前・午後それぞれ 1 時間ずつの 3 つの枠に分け、枠ごとに予定された人数（10 人単位）に接種をおこないます。
   (イ) キャンセルがあったときは、待機しているキャンセル対応要員で穴埋めするか、余ったワクチンを次の枠に回します。
   (ウ) 最終的に、1 日の接種人数が 10 の倍数で収まるように調整します。穴埋めができない場合は、何人かの人に接種を延期してもらうことになります。
   (エ) 1 日当たりの接種人数は、各枠 30 名の計 180 名を基本として実施しています。2 回目には､最大で各枠 40 名の計 240 名まで増やす必要があると考えています。
3. 2 回目の接種における留意事項
   (ア) 接種は 1 回目から 4 週間の間隔を空けておこなうこととされています。
   (イ) 間隔が延びた場合の影響については、現時点ではワクチンの効果に特に問題が生じるとのデータは報告されていません。ただし、できるだけ早く接種を受けることが望ましいとされています。
   (ウ) 接種をおこなう日程は、7 月 19 日（月）から 8 月 7 日（土）の 3 週間（祝休日と 7/24 土を除く）です。どうしても必要であれば、これ以降に追加の接種日を設けることも考えていますが、そこでも 10 人単位の人数設定が必要になるため、言うほど簡単なことではありません。

4. 接種を受ける人に気を付けてほしいこと

(ア) 以上の説明から、1 日・1 枠単位で予定された人数が予定通りに接種を受けることが、どれだけ重要であるかを理解してください。

(イ) 特に 2 回目の接種で問題になるのは、4 週後以降に接種するというルールです。たとえば 2 回目初日の 7 月 19 日（月）に接種予定の人の中から予定変更やキャンセルが出ますと、必然的に何人かの人は翌日以降に回ってもらわなければいけません。それ以降も、都合のつく人での穴埋めがしづらくなり、接種数の最終調整が 1 回目よりはるかに困難になること、全体が後ろにずれていくことが予想されています。

(ウ) したがって、1 回目接種のときにあった、寝坊した、うっかりしたなどの理由によるキャンセルはあり得ないという認識も、ぜひ持ってほしいと思います。

(エ) また、本来の接種予定日と時間帯の変更希望は、本当にやむを得ない事情があるときに限られると思ってください。これまでにフォームに書き込まれた変更希望のほとんどは、こちらとしては認められないレベルの理由しか書かれていませんでした。気軽に好きな日や時間を選べるという考えは、捨ててください。期末試験など授業に関する問題は、大学として対応します。

(オ) それでも、当日の体調不良など、やむを得ない理由でのキャンセルや予定変更は出てしまうでしょう。その影響で、当日、会場に来ても、翌日以降への変更をお願いする可能性があります。そのようなときは、できる限り協力してください。

(カ) 2 回接種は必ず 4 週間後でなければいけないのか？という質問を受けています。これについては、もしルールを破って何か問題が起きたときに言い訳ができますか？ということを考えてみてください。

(キ) 報道などで知っていると思いますが、全国的にワクチンの供給が滞っていて、本学も 2 回目接種用のワクチンはまだ届いていません。2 回目の接種開始が遅れる可能性もあることを、承知しておいてください。

以上、よろしくお願いします。